

羅臼町でトレッキング：望郷の森コース&熊越えの滝コース

羅臼町を訪れた際は、古代林を探検したり、鳴き鳥が生息する森林を散策したり、川や湿地帯を横切るコースへトレッキングに出かけたりすることができます。

望郷の森コース

望郷の森は、2 つのトレッキングコースの総称です。森の中を散策し、湿地帯や川を超え、季節の花々や現地の野生生物を見て回りましょう。1 つのコースを進んでもいいし、2 つのコースを繋ぐコースを周ることもできます。観光案内所では、各コースや地元の文化に関する簡単な英語の解説付きのカラフルな図解入りの地図が用意されています。

癒しの森コース（3km）の起点は、羅臼スキー場に隣接しています。根室海峡の先にある国後島が観察できる、丘の中腹にある羅臼国後展望塔のそばを通るコースです。学びの森コース（5.2km）は、道の駅 知床・羅臼が登山口となっています。このコースは、鹿が頻繁に出没する湿地帯や草原を横切る道となっています。

熊越えの滝コース

このコースは、知床の森奥深くにある高さ 15 メートルの熊越えの滝へ続いています。樹齢 300 年を超える木々の間を通り抜けていく道です。コースの登山口から滝の向かいにある展望地までは約 20 分程で到着します。コースの登山口は露天風呂の熊の湯から 10 分ほど歩いたところにあります。この地域には熊が頻繁に出没するので、対策をしていくことをお勧めします。出発前に羅臼ビジターセンターへ立ち寄り、目撃情報の確認、クマよけ鈴の購入、クマ撃退スプレーのレンタルなどを済ませておきましょう。

トレッキングの際は、指定のコースから外れないようにしましょう。この地域では熊がよく出没します。また、知床の地形は急斜面があり危険な場合があります。